

2009年09月01日

北海道デーリィマネージメントサービス（有）
獣医師 榎谷 雅文

第4回全国獣医学生交流会 夏の大交流会に参加して

獣医学生交流会 Japan Association of Veterinary Student とは
ホームページ URL <http://javs.is-mine.net/javs8.html>

正式名称；全国獣医学生交流会(以下 JAVS : Japan Association of Veterinary Students)とは、「獣医学生が作った、獣医学生のための学生団体」です。

JAVS の目的は、将来、獣医学生一人ひとりが目標や夢を仲間とともに実現させ、最終的に獣医師として人・動物・社会のために貢献できるようにすることです。そのために全国 16 大学ある獣医大学に所属している獣医学生のための情報・意見の交換の場を提供し、獣医学生同士の交流の場を設ける活動を行っています。交流の場を設けることにより、各々に新たな道が開けてきたり、自分と同じ夢を持つ仲間と出会えたりきっかけとなります。

具体的には、毎年夏に行われる「全国獣医学生交流会（通称：夏の大会）」の企画・運営を始め、毎年 10 月に行われている動物感謝デーへの協力、その他のイベントの企画・運営、獣医学生への情報提供、医療系学生との交流などを行っています。

ホームページよりの転載

第4回夏の大交流会にNDKとして参加して また個人として参加して

JAVS夏の大会は、8月22日大阪府大の中百舌鳥キャンパス、23日大阪府大のりんくうキャンパスにて開催され、約470名（スタッフ含む）の獣医学科の学生が参加されました。多くの参加者は、1年生2年生中心で、この春からの新大学生が多く見られました。残念ながら、酪農学園大学の生徒の姿を見つける事ができませんでした。帰省中の北大生や、夜行バスで参加した北里大学の生徒さんなど、多くの獣医師の卵に会う事ができました。

プログラム

- 1日目 講演会 松本秀樹さん お笑い芸人でグッドドッグライフプランナー
愛玩動物救命士 などの資格を持つ
- 分科会（12のテーマ）
- 検索エンジン（色々な話題で議論する場）
- おしゃべりな部屋
- 懇親会

分科会でNDKは「獣医コミュニケーション with NDK」を担当し、約45分間の時間を頂き、堀北、石井両氏が学生さん向けに話をしました。

石井さんの紙芝居でのNDKの成り立ち、目的などの説明後、堀北さんがアイスブレイク(自己紹介ゲーム)、聞き方のワークショップを開催されました。私はお手伝いと写真での記録を取りました。

聞き方のワークショップでは100名以上の学生さんが集まり、獣医コミュニケーション?てなんだろうで始まりました。獣医師と動物の間には人(畜主、飼い主)が存在し、その人たちの話を“よく聞く事が大事なんだ”という説明後、聞き方のワークショップを体験して頂きました。死んだようにして聞く、笑顔で聞く、相づちを打って聞くなど色々な形式での聞き方を体験して頂きました。話し手はその影響をもろに受けて、かなり話づらい体験したようです。写真を撮りながら聞いていて、条件が変わるたびに、話し声が大きくなり、会場の雰囲気盛り上がる事が判りました。

懇親会では、このワークに参加された人から、おもしろかったとの感想を頂いたり、ワークショップを体験した事が、心にかなりの影響を与えたりした事を知りました。体験しないと判らないのがこのワークショップであり、NDKですよと話しながら、次回開催のワークショップの宣伝をしました。

全体への説明の様子



聞き方のワーク



石井さんの説明の様子



昼休み

現役幹部と今後の事について、堀北さんを交えての協議を行いました。今後どのようにしてNDKがJAVSと関わっていくべきか、また新しい幹部との協議体制についても話が行われました。

具体的に12月19日 NDKwithJAVSで獣医コミュニケーションのワークショップを首都圏で開催する。来年の春には、JAVSの「ハローベテ」(新1年生対象のあつまり)にNDKも参加する事を確認しましたが、JAVS新幹部との折衝が今後必要です。

検索エンジン

ひとつのテーマに関して、班に分かれて討議と発表を行いました。「大動物診療」のテーマに堀北さんと参加して、色々討議をしました。

我が班は班員4名の参加者で、人獣共通感染症が我が班のテーマとして討議をしました。その中で、獣医師は動物を診ているようであるが、実際は動物を通じたり、食物を通じたりして、人間を見ている事を伝えました。常に背中には人がいる事を忘れないように動物を見る事も大事と。

他の班では、何故大動物診療に学生が行かないのかがテーマでした。大動物診療に興味のある学生は、大学に入ると大動物に触る事もなく卒業してしまう可能性がある。それ故大学などの情報発信が重要ではないかと。又、大動物診療興味を持たない学生は、情報もない、興味もないので益々遠ざかる傾向にあると。結局もっと多くの大動物診療に関する情報を学生に出す事で、学生の興味の有無にかかわらず、大動物診療を知らしめる事が大事であると判りました。その結果、学生が選択したのは小動物であるかもしれないし、行政かもしれない。我々はもっと学生さんに多くの情報を発信し、考えるための手段を与えるべきであると感じました。

まさにこのJAVSとの連携が、情報発信の場になり得るとの感じです。また、学生からもこの情報発信は4年・5年ではなく、1・2年生の早い段階で行われるべきであるとの意見も頂きました。

しゃべり場 まったりの部屋 テーマ 研究室

午後3時からのおしゃべりの場は、何処に行けばよいのかも判らず、何となく研究室というテーマの部屋に入りました。行き場のない人が来る部屋らしく、5年生が中心の部屋となりました。あまりテンションも上がらず、せつかく来たのだから話でもしましょうかという流れで、府大5年生や岐阜大5、6年生と話をすることができました。

現在就職活動のスタートらしく、将来を決める岐路に立っている感じで、小動物の事、公務員の事、多少大動物の就職事情も聞かれました。やはりその中でも、今更進路変更は難しいかもしれないので、早めの情報があると良いとの意見や、もっと早く就職活動を開始しなければいけないなどの意見が出ました。恋愛、結婚などの話も出ました。

そこでの先輩のアドバイス。失敗を恐れないこと、失敗に至った過程を振り返る事。情報を集め行動した結果、それが失敗であっても、行動したからこそ失敗という結果が見えたのである。行動しなければ、失敗という結果もなく、只不安と後悔だけが残る。失敗という結果も大事な結果であるので、大切にしてください。失敗と判れば、次の手を考えればよいのであって、失敗を恐れているだけでは先には進まない。……就職を前にした娘に話をしている感じで

懇親会

アルコールなしの懇親会が開催され、狭い教室に多くの人が集まりました。携帯電話を使ったりくじがあり、見事にジェンガを当てる事ができました。多くの学生がメールの交換や電話番号の交換をしていました(赤外線通信はどうやるの)。この懇親会の中で、JAVSを立ち上げた初代会長と副会長に会い(まだ25才)、今後の事について少し話をしました。

プログラム 2日目

会場を大阪府大りんくうキャンパスに変更し、昨日の分科会を再度開催する部分と、レクレーションの部分がありました。大阪の中心地よりやや遠く、関西国際空港の入り口となります。また、府大の高学年の生徒の参加も見られましたが、中心は2年生以下の部分でした。

分科会「獣医コミュニケーション with NDK」を開催し、講演する。参加者 18名 3班で実施

「獣医コミュニケーション with NDK」の分科会を担当し、「**他人と過去は変えられない、自分と未来は変えられる**」をテーマにして、問題解決の考え方ワークショップを開催しました。考え方とコミュニケーションは違っているようにも思われますが、如何にして畜主との関係を上手く築き、改善をしてもらうには大事な事になります。畜主が自分で決めて、自分で行動するように仕向ける手段を覚える事も、コミュニケーションのひとつとして考えてみました。

アイスブレイク この指と一まれ

18名の学生さんに色々なグループを作ってもらいました。

1. 今日朝ご飯を食べてきた人と食べていない人に分かれてください。

条件 身振り手振り、言葉は使ってはいけません。

かなり時間を要し、2グループにできあがるも間違えた人が多く出ました。

2. 血液型でグループを作る

条件 言葉は発してはいけません。

身振りで血液型を表し、短時間でグループは完成する。間違いはない。

3. 生まれた星座毎にグループを作る。

条件 言葉を発してもかまいません。

短時間でグループは完成する。間違いはない。 このグループを利用して班編制をする。

アイスブレイクの解説:

簡単な条件でもコミュニケーション(言葉や身振り)がとれないと、物事は進行しない。如何に人に伝えるかで、進み具合は変わる。情報発信や、誰が“言い出しっぺ”になるかで完成までの時間が変わる。声を上げる事が如何に大事かを理解してもらうゲームですと説明する。

「他人と過去は変えられない、自分と未来は変えられる」

具体的には、「東京オリンピックに出たい」と思う私(52才)を、如何にしてオリンピックに出られるようにするかのブレインストーミングとKJ法を体験して頂きました。「お金で出場権を買う」などすばらしいアイデアも出ましたが、時間が足りずに、まとめと発表までには至りませんでした。

何故このようなゲームをするのかの説明を最後に行い、卒業後の将来を今から考えて欲しいとまとめました。判らないからこそ、調べてみるのだ。失敗は大事な結果である。

分科会 その2

その後同じ分科会会場で、学生さんの講演を聴く。(順不同)

1. 野生動物たちはすぐそこにいた

岐阜大大学院生の山崎氏による講演。野生動物の調査観察、治療などに関する話なれども、今の自分が何故このようになったかを大学時代から話し、結論は「学生はチャレンジを」をアピールする。初代JAVS副会長であった。講演後JAVSの将来について話をする。

日本野生動物医学会の下部組織である、日本野生動物医学会学生部会なる組織が、全国17大学にある事を知る。(16大学+帝京科学大学)

2. 動物工場

山羊に遺伝子操作を施し、人に有用なる医薬品やホルモンを作らせるようにする方法。山羊乳からアンチトロンピンを作成する商業的モデルが稼働し始めたとの事。今後どのような方向に進むのか、日本はどうなるのかの提言がありました。

3. レッサーパンダ

レッサーパンダの話なるも、中国のパンダ戦略を聞いた。白浜に多くのパンダがいるが、すべて中国からのレンタルで、レンタル料金は1億円を要するとか。中国の金儲けか、それとも伝染病に対するリスクマネジメントか？四川省の地震がこのビジネスに影響するだろうか？

4. 国際獣医学生交流会(IVSA) International Veterinary Student Association(2008年日本支部設立) JAVSとは異なり、国際獣医学生交流会なる組織も結成されている様子である。本部をデンマークに置き、世界40カ国、85大学が加盟し、2万2千人の会員組織である。

JAVSと一緒に「獣タイムス」なる雑誌が創刊されているそうである。この会では個人レベルでの交流も斡旋しているようです。

IVSA 公式ウェブページ→<http://www.ivsa.org/>

日本支部ホームページ <http://ivsajapan.okoshi-yasu.com/>

5. グローバルな獣医師になるためには

各国の獣医師の資格や、外国で獣医師の免許を取るためにはどうすべきかなどを話されていました。EU圏内は、獣医師試験が統一されているようです。

国際公務員になるには？

中国 ドイツ イギリス ニュージーランド オーストラリア各国の獣医師、学生の紹介

この発表の中での獣医師の仕事の分類

- ①小動物臨床分野
- ②農林水産分野
- ③公衆衛生
- ④バイオメディカル
- ⑤野生動物
- ⑥動物愛護

懇親会 バーベキュー

ビールを飲んでよく、小雨交じりの中を焼き肉で盛り上がりました。その中で、参加者の中にインフルエンザに感染した生徒が出た報告があり、あわてて体内からのアルコール消毒に走りました。

1日目の懇親会の様子



検索エンジンでの発表の様子



JAVS 夏大会の資料の最後には日本獣医師会会長の山根氏のコメントも掲載されておりました。

日本獣医師会によるJAVSとIVSAの紹介のページ

<http://nichiju.lin.go.jp/mag/06202/a10.htm>

JAVS 公式HP <http://javs.is-mine.net/>

IVSA 公式HP <http://www.ivsa.org/>

IVSA Japan 公式ホームページ <http://ivsa.japan.okoshi-yasu.com/>

IVSA-J 公式ブログ <http://ameblo.jp/ivsa-japan/>

IVSA-J 窓口 ivsa-japan@gmail.com